

3.11東日本大震災

絆で結ぶ♡あったか千歳

【共催】千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ
「3.11 東日本大震災 絆で結ぶ♡あったか千歳」実行委員会

- 日時 2012年3月11日(日)
- 会場 ANAクラウンプラザホテル千歳 2階「千歳の間」



3.11 東日本大震災 絆で結ぶ♡あったか千歳

日本国中が祈りの一日となった3月11日。

この事業にご賛同頂いた約480名が出席されました。東日本大震災で犠牲になられた方々に対し、1分間の黙とうを捧げて開会となりました。開会の挨拶は千歳セントラルロータリークラブ羽生有三会長。

「山口市長をはじめご来賓の皆様、ご協力頂きました各企業・団体の皆様、そして千歳・恵庭市民の皆様、心より感謝を申し上げます。3月11日という日にこの会を開催するに至ったのは、東日本大震災で亡くなられた方々



のご冥福をお祈りするとともに、これからも私たちは被災地へのボランティア活動を風化してはならないという強い決意があったからです。被災地から安住の地を求め、千歳にやって来られた方たちに市民の皆様と一緒に支援の場を広げていきたいと考えたからです。被災地の復興なくして、我が日本の平和と繁栄はありません。被災地の一日も早い復興を祈願致します。」

続いて、講演「3.11 東日本大震災被災地復興支援活動報告」が行われました。講演者は第7師団副師団長小淵 信夫様、第7施設大隊長 田村 勝様、第7化学防護隊長 天利 光宜様。

岩手県遠野市綾瀬へ陸上自衛隊第7師団の生活支援隊長として活動された小淵様は「報告を通して被災地支

援の一端を知って頂き、被災者への支援の参考にして頂きたい。そしてあって欲しくはないが、このような災害への備えとして知って頂きたいと思う」と被災地支援活動写真の説明とあわせて報告されました。被災者の視点に立ち、いたわりや思いやりの姿勢に徹し、不眠不休の活動が行われたことを改めて認識することとなりました。給食支援、入浴支援、救援物資配布等の支援活動についても報告されました。



来賓の山口幸太郎千歳市長は、「今日は忘れてはならない3月11日。あれから一年です。被災された多くの方々に追悼、お見舞いし大震災で学んだ教訓を風化させずに活かしていこうと大勢の市民にお集まり頂き、感謝申し上げます。今回ほど、自衛隊の活躍が私たち市民生活の身近にあることを感じたことはありません。本当に有難く思います。今後も国防、市民の生活の安全の為に貢献して頂けるよう支援をしていきたいと思ひます。」



千歳市では26世帯、71名の被災者の方がいらっしゃいます。バスで市の施設をご案内をするなどなんとか気持ちが立ち直るようなお手伝いをしてきました。多くのボランティアの方々からも多くの援助を頂きました。多くの支援物資も集まり改めて感謝申し上げます。また、今日までに義援金は5000万円を超えました。大震災を心に刻み、私たちが元気になって日本復興の推進力となるため、希望をもって今日から生活しようではありませんか。その元気がひいては被災の皆さんにも元気を与えることになると思ひます。」と挨拶されました。

避難者ご家族への支援金贈呈

支援金総額102万1,040円が福島、宮城、岩手各県人会の代表に渡されました。人数に応じて避難者ご家族へ渡されます。



* 佐藤秀雄 PG から福島県人会 会長へ

* 今村会長から岩手県人会会長へ



* 羽生会長から宮城県県人会会長へ



続いて、千歳商工会議所龍澤順久会頭の発声で震災で亡くなられた犠牲者の鎮魂と被災地の一日も早い復興を祈念し献杯を行いました。



急遽、ご参加頂いた国際ロータリー第2510地区熊澤隆樹がバナーからのご挨拶を頂きました。

「千歳で二つのロータリークラブが共催でこのような事業を行うことを聞き、駆けつけました。地区の中でもロータリークラブが共同で事業を行うことはなかなかありません。地区としては、福島へ総額約2,000万円の事業を行っております。放射線測定器贈呈、飯館村への車両贈呈、飯館村の子供たちの北海道への招待事業です。今年度に引き続き、次年度も支援金を使って被災地の要望に応じた支援をしていきます。千歳ロータリークラブと千歳セントラルロータリークラブが3.11という日に継続的にこのような事業をされることに感謝します。ロータリークラブは引き続き支援活動を行っていくので温かく見守って頂きたい」と話されました。

千歳市芸能赤十字奉仕団による音楽演奏、南京玉すだれ、フラメンコを鑑賞して頂きました。



* 南京玉すだれ

* ハーモニカ演奏



* フラメンコ



閉会の挨拶は、千歳ロータリークラブ今村静男会長。

「被災地に対しての支援はそれぞれの立場で皆さんがやって来られたと思います。私共は、千歳に避難している方々にご支援出来ないだろうかと 2 つのクラブが合同でこのような企画をしてきました。私共のクラブは地域に密着した活動をおこなっており、今後も行っていきたいと考えています。皆様に支援金を頂くということがよいのだろうか、大変迷いました。しかし、先ほど山口千歳市長がお話しされたように、千歳の地に実際 71 名の方々が避難されています。寒い冬を越えられて、もう一度千歳を選んで頂けるかはまさに「あったか千歳」の一言にかかっていると思います。今後はこのような支援活動はないかもしれませんが、お互いの気持ちが通じる交流をそれぞれの方がして頂ければ、今日のこの企画も生きてくると思います。皆さんそれぞれが温かく迎えて頂ければ良いのではと思っています。本日は誠にありがとうございました。」



お礼のことは

文字通り列島を揺るがし、世界を震撼させた東日本大震災から 1 年。復興の槌音が高らかに聞かれる一方で、生まれ育った故郷から避難を余儀なくされている方々があります。ここ千歳にも、被災各地から避難をして、新たな生活を始めた方々があります。

自衛隊員はじめ行政やボランティアなど多くの人たちを被災地復興支援に送り出した千歳に住む私たちは、3 月 11 日を自然災害への備えを忘れずに心に刻む日として、避難されて来た方々に千歳を新たな故郷と感じていただけるよう温かく迎え入れ、支援をしていく日にしようと「絆で結ぶ♡あったか千歳」を開催しました。

私たちの呼びかけに、多くのご賛同とご協力を得て、大勢のご参加を頂き、1 年前の震災に思いを馳せ、避難している方々への支援の輪を広げることができました。皆さんのお気持ちに心から感謝し、地域の絆を強め、温かい心をはぐくんできたいと思います。本日はありがとうございます。

(当日配布のパンフレットから転載)

◇協力友好団体等

- ・千歳ライオンズクラブ
- ・千歳中央ライオンズクラブ
- ・国際ソロプチミスト千歳
- ・千歳プロバスクラブ
- ・千歳ローターアクトクラブ
- ・千歳青年会議所
- ・福島県人会
- ・宮城県人会
- ・岩手県人会
- ・千歳圏人会
- ・千歳民報社
- ・千歳市芸能赤十字奉仕団
- ・メディアコムちゃん編集部（順不同）